

NHKの情報犯罪

一万人が「法の正義」と「道義」を求めて起ち上がった

日本文化チャンネル桜代表取締役

水島 総

二月十五日、東京地方裁判所一〇三号法廷において

NHK「JAPANデビュー」裁判の第一回公判が開かれた。百名ほどの傍聴席は満席となり、小田村四郎会長、柚原正敬・常務理事、水島総・日本文化チャンネル桜代表取締役（本会理事）永山英樹・台湾研究フォーラム会長（本会理事）の四氏が意見陳述した。今号では水島・永山両氏の意見陳述書を掲載する。

この裁判では、昨年四月五日夜に放映された「NHKスペシャルシリーズ JAPANデビュー・第一回『アジアの「等国』』」の内容が放送法に抵触するとして、台湾のバイワン族を含む一万三百五十五人がNHKに損害賠償を求めて提訴した。（本誌編集部）

放送法違反の事例の数々

この陳述では、メディアの「情報犯罪」とでも言うべきNHK（日本放送協会）の捏造、歪曲について述べる。

よくテレビメディアの政治的「偏向」が問題となり、また、訴訟も起こされて来たが、いわゆる「偏向」は、個人的な主観や報道や表現の自由に関わる問題もあり、今回のNHK集団訴訟においては、「偏向」を問題にするのではなく、番組制作における「捏造、歪曲、やらせ取材、隠蔽工作」という、放送制作者が絶対行つてはならない放送法違反の事例について取り上げて告発するものである。

NHKの捏造、歪曲行為等の放送法違反の行為を明らか

にすることで、NHKの情報犯罪行為と言うべき政治的「偏向」も、おのずと明らかになるはずである。

今回の一万人NHK集団提訴は、主にNHKの番組「JAPANデビュー アジアの一等国」シリーズを取り上げた訴訟であるが、裁判史上最大の一人の日本国民が原告となったのは、今回の問題だけでなく、NHKが過去においてもずっと「捏造、歪曲」番組を作り続けて来た「情報犯罪行為」の「前科」が数多くあり、それが一向に是正されないからこそ、一万人以上の多くの国民が、本来、国民の所有物であるはずの公共電波の公正な運用を求め、公共放送の「法の正義」と「道義」を求めて起ち上がったのである。

公共電波という情報発信の「生産手段」は、主権者たる日本国民が本来所有するものであり、国家を通して、NHKに信託、委託付与された独占的な情報発信手段である。したがって、NHKの視聴料を支払っているか、いないかにかかわらず、日本国の国民が等しくNHKから流される公共電波に対して、放送法に基づく公正な事業展開と捏造や歪曲のない番組制作を要求し、主張する権利と義務があることをまず指摘しておく。

台湾のゆくえを見つめる…一冊の本がここに！

台湾という

新しい国



許世楷著 慮千恵著

定価 1575円
四六判 並製
二五六頁

許世楷前大使が語る

「台湾新生国家理論」とは？

馬英九政権下で、中国の影が台湾を暗く覆いつつあるいまこそ、メイド・イン・TAIWANの新しい台湾国への道を語る時である。

本書は、許世楷夫妻が二〇〇五年に出版した『台湾は台湾人の国』が絶版になっていたので、その後の台湾の状況を踏まえて新たに第八章「台湾国への道のり」を立て、大使辞任の経緯や馬英九政権下での台湾の進路、許大使オランダの「台湾新生国家理論」について述べるとともに、第七章までかなりの加筆や修正を加えて上梓したものです。

台湾の本のまどか出版



〒113-0022 東京都文京区千駄木5-1-19-15
TEL: 03-5814-0262
AX: 03-5814-9292
URL: <http://www.madokabooks.com>

独占的な公共電波は、政治経済分野、教育分野においても多くの国民の意識形成に多大な影響を及ぼしている。放送される番組制作が捏造歪曲によって政治的偏向が生じ、国民に間違った情報が与えられて生まれる意識や思考は、国家の平和や安全までも脅かしかねない。また、国家の中心的分野のひとつ、教育においても、歴史的事実の捏造歪曲が公共電波で流されることにより、誤った情報で多くの国民が歪曲された誤った歴史認識を持ちかねない。

一万人以上の日本人原告団は、日本国民として「法と正義」を求めて起ちあがり、外国人原告団は、捏造歪曲された歴史事実の情報を日本国内外で放送されることにより、日本国との政治・経済・文化交流が損なわれ、物心共に損害を受けることを危惧し、また自国の名誉や誇りが傷つけられたとして起ちあがったのである。

本来、日本国民のものであるはずの「公共電波」が、国民の信託を受けているはずのNHKによって、不当に運用され、捏造歪曲の不正行為によって番組が制作され、放送されたことに対して、物心両面で被害を受けた国内外の人が、法の正義と執行を求めて起ちあがったのである。

この法廷において、私たちは動かぬ証拠の事例を挙げ、

NHKの悪質な「捏造、歪曲」の常習性の事実を明らかにする予定である。一例をあげれば、NHKの国政選挙投票日前夜におけるカメラアングル、レンズ操作、編集による悪質な印象操作行為やNHK・JAPANデビューにおけるサブプリミナル操作、やらせ取材、歴史事実の捏造、不正な番組制作の隠蔽工作等である。

公共放送局にあるまじき実態

同時に、私たちは、我が国で唯一の「公共放送局」であるはずのNHKという特殊法人が、その建前とはおよそかけ離れた公共放送局にあるまじき実態をも明らかにする。例えば、NHKにおける国民を裏切る「天下り」の実態であり、日本一の高給に胡坐をかき、国民の視聴料を貪る実態であり、二千数百億以上の売り上げをNHKの番組放送から貪るNHK職員による天下り先のNHK子会社の実態である。

番組内容についても、私たちは日本国憲法に定められた基本的人権の範囲を超えている「日本国民統合の象徴」たる天皇陛下と皇室へのNHKのネガティブキャンペーン、皇室攻撃（天皇陛下についてのアンケート等）を、事実

基づいて明らかにしていく。これらは次のNHKの「国内番組基準」にも、日本国憲法にも違反している。

NHKの「国内番組基準」は次のように記されている。

「日本放送協会は、全国民の基盤に立つ公共放送の機関として、何人からも干渉されず、不偏不党の立場を守って、放送による言論と表現の自由を確保し、豊かで、よい放送を行うことによつて、公共の福祉の増進と文化の向上に最善を尽くさねばならない。」

NHKは、NHK「JAPANデビュー」の番組制作における歴史事実の捏造、歪曲、やらせ取材、隠蔽工作等の不正腐敗行為を報道した衛星放送会社「株式会社日本文化チャンネル桜」を、公式のNHKホームページと定例記者会見で、NHK「JAPANデビュー」について間違つた情報を繰り返し伝えて非難し、誹謗中傷し、抗議書と同社に対して送付して来た。これは、放送法を遵守して真面目な取材と報道をしている同社に対する悪質な名誉棄損であり、営業妨害である。メディアとしての倫理と道義が問われる問題であり、当法廷において、NHKがいかに傲慢で、巨大組織を背景に不正を働いているかの証拠として、明らかにする予定である。

日本李登輝友の会 第9回理事会のご案内

先般3月28日に本年度で8回目となる理事会並びに総会を開催し、理事・監事各位には総会の議事録をお送りし、第9回理事会の開催につきましてもご案内いたしました。

この理事会は前回理事会の討議に基づいて開催するもので、本会運営や理事会のあり方等につきまして積極的かつ建設的なご意見を賜りたく、何かとご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

■日時：平成22年6月13日（日）午後2時～4時（1時30分 受付開始）

■会場：文京シビックセンター 3階 会議室1・2

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21 TEL：03-5803-1100

【交通】東京メトロ：丸ノ内線・南北線「後楽園駅」徒歩1分

都営地下鉄：三田線・大江戸線「春日駅」徒歩3分

JR 総武中央線「水道橋駅」徒歩10分

*同封の「出欠票」は、5月31日（月）まで、FAXにてご返送のほどお願いします。

日本李登輝友の会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-36-9 西ビル2A

TEL：03-3868-2111 FAX：03-3868-2101 E-mail：info@ritouki.jp